

交渉情報	NO.115	信越支社郵便事業本部 オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2013年7月25日	添付資料:11枚

平成25年度年賀差立集中処理及び2パス集中処理について

信越支社郵便事業本部オペレーション部は、7月25日、「平成25年度年賀差立集中処理及び2パス集中処理」について地方本部に説明してきました。

標記趣旨は、(1)年賀郵便物の差立集中処理及び2パス集中処理を行う。(2)区分機配備局において年賀郵便物の円滑な業務運行を確保するため、深夜勤務を実施するものです。

差立処理計画及び2パス集中処理計画は「別紙1」支社資料を参照願いますが、昨年と同様であり、今年度で4年目の実施としています。「別紙1」の2パス集中処理欄の網掛けした郵便局は、2パス処理が一般信のみ地域区分局で行われます。

年賀配達結束基準は「別紙2」の通り昨年同様ですが、1月2日は例年のように配達の実施を前提に計画されています。(現在、本部-本社間で検討中)

「別紙3」には地域区分局の12月25日～12月31日までの年賀結束予定便、「別紙4」には地域区分局、年賀2パス集中処理一般局、被集中局における年賀郵便物の結束の流れが記されており、昨年同様としています。

深夜勤務実施局は昨年の11局、及び今年4月から深夜勤務が廃止となった新潟中局の計12局について実施されます。期間は、平成25年12月24日～平成26年1月3日までとし、勤務パターンは「別紙6」を参考に各局で決定します。

なお、要員配置は深夜に正社員1名及び期間雇用社員2名の配置、必要に応じビデオコーディング打鍵要員の増配置、深夜勤務実施に伴う後補充は期間雇用社員で対応するとしています。

また、サービス表改正は必要に応じ、ルールに基づき意思疎通の上、作成することとなります。

地本では、7月中に本計画を示す理由を質したところ、集中処理計画は従前の時期とし、結束基準及び結束の流れについては、全社員年賀の展開等の検討に当たり、早期に労働力措置を決定することが必要なため、7月中に提示したとしています。

【労使対応】 深夜勤務実施の12局は単局窓口、他局は地本への情報提供